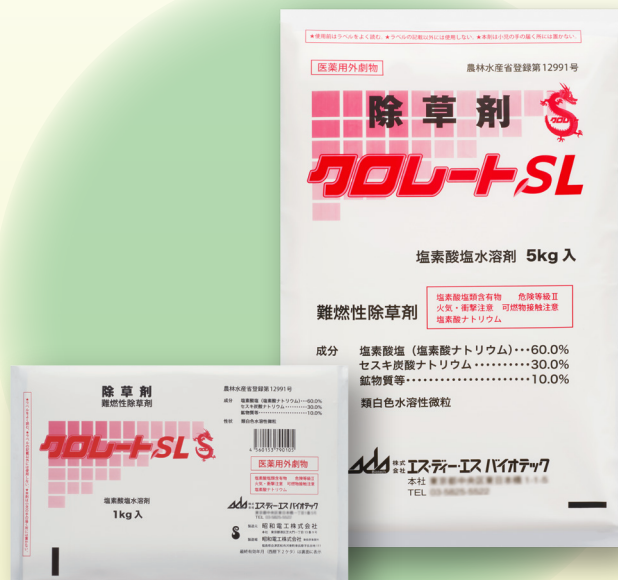


緑地管理用除草剤・水稲刈取跡・水田畦畔

コロートSL 水溶剤



緑地管理用での使用例

約30㎡(10坪)に
10ℓの溶液で
散布出来ます。

水10ℓ
500g

散布器具はお手持ちの
ジョウロでOK!

製品を水に溶かしてご使用下さい。

● 特 長 ●

♪ 使用場所と適用雑草の範囲が広い

一年生雑草から多年生雑草まで広範囲の雑草を枯らします。

♪ 効果の発現が早い

有効成分が茎葉・根から吸収され速やかに効果が現れます。

♪ 2～3 ヶ月効果が持続

土壌に浸透した有効成分は2～3 ヶ月間、雑草の生育を抑制します。

● いろいろな場所で使用できます。 ●



● 購入の際は、印鑑をご用意下さい。



Vegrass.com

ヴェグラス ドットコム

<https://www.sdsbio.co.jp/vegrass/index.html>



クロレートSL

有効成分：塩素酸ナトリウム……………60.0%

性 状：類白色水溶性微粒

毒 性：劇物

危険物：第一類 塩素酸塩類含有物
第二種酸化性固体(指定数量300kg)

特長

- ◆一年生雑草から多年生雑草まで広範囲の雑草に枯殺効果を示す。
- ◆非選択性、接触型除草剤で、その強い酸化作用により植物を枯殺する。
- ◆本剤は効果発現後、土壌中でゆるやかに分解し、消失する。

●適用雑草と使用方法

| 作物名 | 使用目的 適用場所 | 適用 雑草名 | 使用時期 | 使用量 | | 本剤の 使用回数 | 使用方法 | 塩素酸塩を含むの 農薬使用回数 |
|-----------------------------|-----------------------------------|--------------------|----------------------------|-----------------|------------------|-------------|--------------------------|---|
| | | | | 薬量 | 希釈水量 | | | |
| 樹木等 | 公園、堤とう、駐車場、 道路、運動場、宅地、 のり面等 | 一年生及び 多年生雑草 | 雑草生育期 | 10～25kg /10a | 200～300ℓ /10a | 3回以内 | 植栽地を除く樹木等の 周辺地に雑草茎葉散布 | 3回以内 (全面土壌散布は1回以内、 但し当該処理をする場合には 雑草茎葉散布は1回以内) |
| 移植水稻 直播水稻 | 刈取跡 | マツバイ | 刈取後10日以内 | 10～13kg /10a | 80～100ℓ /10a | — | 雑草茎葉 散布 | — |
| | | ミズガヤツリ | 刈取後～ ミズガヤツリの 塊茎形成前まで | 13kg/10a | | | | |
| 水田作物 (水田畦畔) | 水田畦畔 | 一年生及び 多年生雑草 | 雑草生育期 | 7.5～15kg/10a | 100～200ℓ /10a | | | |
| 水田作物 畑作物 (休耕田) | 休耕田 | 一年生雑草 | | 10～30kg/10a | | | | |
| | | 多年生雑草 | | 30kg/10a | | | | |
| 果樹類 | 果樹園 | 一年生雑草及び 多年生広葉雑草 | | 7.5～12.5kg/10a | | | | |
| | | 多年生イネ科雑草 | | 12.5～15kg/10a | | | | |
| 桑 | 桑園 | 一年生雑草及び 多年生広葉雑草 | 雑草生育期 (晩秋期) | 7.5～12.5kg/10a | 200～300ℓ /10a | | | |
| | | 多年生イネ科雑草 | | 12.5～15kg/10a | | | | |
| 開墾後に 栽培する 農作物等 | 開墾地 | 一年生雑草及び 多年生広葉雑草 | 7.5～12.5kg/10a | | | | | |
| | | 多年生イネ科雑草 | 12.5～15kg/10a | | | | | |
| まつ類 からまつ えぞまつ とどまつ | 地ごしらえ | 一年生雑草及び 多年生広葉雑草 | 雑草生育期 | 7.5～12.5k/10a | | 3回以内 | 3回以内 | |
| | | 多年生イネ科雑草 | | 12.5～15kg/10a | | | | |
| すぎ ひのき | 地ごしらえ 下刈り | 一年生雑草及び 多年生広葉雑草 | | 7.5～12.5kg/10a | | | | |
| | | 多年生イネ科雑草 | | 12.5～15kg/10a | | | | 3回以内 (全面土壌散布は1回以内、但し 当該処理をする場合には雑草 茎葉散布、全面均一散布、空中 散布及び株処理は合計1回以内) |

⚠効果・被害等の注意


- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 本剤の所定量を所要量の水に加え、金属かプラスチックの棒で良く攪拌して溶解する。
- 本剤使用の際は、展着剤を加用すると効果的である。
- 使用器具、雑草の成長度等の条件により、使用薬量及び希釈水量は所定の範囲内で増減し使用する。
- チガヤには効果が劣るので、再生した場合再散布する。
- 本剤は雑草の種子には効果がなく、結実前に散布し、再生したら再散布する。
- 本剤の散布直後に石灰又は木灰を施用すると本剤の効果が低下することがあるので注意する。
- 降雨時または降雨の予想される場合は使用しない。
- 本剤の散布適期は対象雑草が萌芽し、新葉が展開をはじめた時期であり、生育の進んだ雑草には効果が劣るので、時期を失しないように散布する。一年生及び多年生雑草は草丈50cm以下が散布適期である。
- 本剤を水稻刈取り跡のマツバイ及びミズガヤツリ防除に使用する場合は次の事項に注意する。
 - 本剤は生育期間中のマツバイ及びミズガヤツリに有効なので、マツバイ及びミズガヤツリの枯葉出現前に処理する。
 - ミズガヤツリを水稻とともに刈取るところでは、ミズガヤツリの再生後なるべく早く散布する。
 - ミズガヤツリ防除に使用する場合、ミズガヤツリの塊茎形成後では効果が劣るので刈取り後が塊茎形成前になる地帯でだけ使用する。従って処理後下地から発生する地帯では使用をさける。
 - 本剤は排水良好な一毛作田で使用する、散布前に落水し、マツバイ及びミズガヤツリを露出させてから茎葉に均一に散布する。
 - 本剤の連年使用はなるべくさける。
- 本剤を地ごしらえ、果樹園、桑園、開きん地などの除草に使用する場合は次の事項に注意する。
 - 散布前には雑草木の葉を刈りとらない。
 - 果樹園及び下刈りの場合は、果樹及び林木の葉や小枝や根元に薬液がかからない様に風向きなどに十分注意する。
 - 桑は、果樹に比べて本剤に弱いので夏季の散布をさけ養蚕の終わった晩秋に散布する。
 - 下刈りに使用する場合、植付当年の使用はしない。
- 畦畔雑草防除を目的として使用する場合、のり面の散布はさける。又流入、飛散等による被害に注意する。
- 植栽地を除く樹木等の周辺地では使用する場合は、薬剤が樹木等の植栽地に流入または飛散するおそれのある場所等では使用しない。また、樹木等有根植物の根が分布していると思われるところでは使用をさける。
- 本剤を散布地を農耕地に利用する場合は、散布後3ヶ月以上経過してから播種または植付けする。
- 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう散布地域の選定に注意し、散布区域以外の諸物件に十分留意する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠安全使用上の注意

- 本剤は難燃性になっており火災の危険は少ないが、使用器具は木製など可燃性のものはさけ、使用後は水洗いをしてよく乾かす。
- 散布器具の洗浄水は河川等に流さず、環境に影響を与えないよう適切に処理する。
- 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意する。
- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意する。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の指示を受ける。
- 本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の指示を受ける。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の指示を受ける。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗うが、いすくとも洗顔する。
- 畜に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 公園、堤とう等では使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
- 薬剤が濡み込んで乾いた衣服や地下足袋などは着火して火傷をおこし易いので、火気には注意する。着火の際は水をかけて消す。作業終了後、薬剤の付着した衣服、地下足袋等をよく水洗しておく。
- 本剤は家畜が好んで食べて中毒を起こすことがあるので、保管に注意し、また散布直後の散布区域への家畜の放飼は行わない。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすおそれがあるので、養魚田周辺での使用には注意する。
- 使用残りの薬剤は必ず鍵のかかる安全な場所に保管する。
- 本剤はリン、イオウ、アンモニア塩類およびアンモニア性肥料、ガソリン・灯油等の油類、強酸性物質、木・繊維類のような可燃物との混合は危険なので、同一保管をさける。
- 危険物第一類に属するので、火気・衝撃および可燃物に接触しないように注意する。
- ★盗難・紛失の際は警察に届ける。
- ★火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努める。
- ★漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収する。
- ★移送取扱いは、ていねいに行う。
- ★空袋は圃場などに放置せず、環境に影響を与えないよう適切に処理する。
- [保管]：火気をさけ、直射日光が当たらない鍵のかかる低温で乾燥した場所に食品(飲食物)と区別して密封して保管する。

この印刷物の記載内容は2025年11月現在のものです。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

〈販売〉  **丸善薬品産業株式会社**
SINCE 1895
東 京 東京都千代田区鍛冶町 2-9-12 (神田徳力ビル) ☎03-3256-5561
大 阪 大阪市中央区道修町 2-4-7 ☎06-6206-5531
福 岡 福岡市中央区天神 4-1-37 (第一明星ビル) ☎092-707-1593
札幌 札幌市中央区大通西 6-1 (富士フィルム札幌ビル) ☎011-261-9024
仙 台 仙台市青葉区一番町 1-2-33 ☎022-222-2790

〈製造〉  **エス・ディー・エス バイオテック**
株式会社